

# 30年前

平成6年  
7月の  
ささづねより



## げたマラソンに出場

四月二十九日、日曜日に、ぼくは、いこの大ちゃんと一緒に、かそつをしてげたマラソンに出ました。ぼくは、エスパルスの顔にぬる青色で顔におけしゅうをしました。りょう目にぬり終わると、やぐざに目をなぐられたようでした。そして、Donald Duckのふくをききました。おきやくさんが「かわいいね。」と言ってくれたのでうれしくなりました。

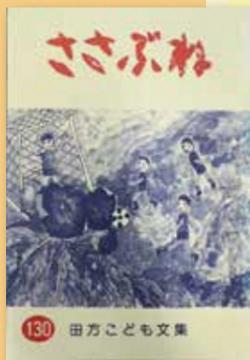
アクシスカつらぎへ行ったら、みんながスタートのじゅんびをしていたので、いそいで走って行きました。

## どんなことしたのかな

やすみのとき、ふじみらんどへきょうりゅうをみにいきました。てららのさつるすがきはむいてこつちをむいて、ぼくはおどろいたの。おかあさんがしやしんをとってくれたの。  
(韮山小1年)



ぼくといこのしんぞうはドキドキしていました。ピストルが、「パン」となり、いっせいにスタートをしました。とんとん人をぬかしていって、三番に入り、トロフィーとしようじょうをもらいました。とっても楽しくて、また出たいなと思いました。  
(長岡南小3年)



平成6(1994)年  
130号掲載

## うさぎの世話

ぼくは、今日、うさぎ当番です。八岳小では、四年生になると、うさぎとチャボの飼育をします。男子は、うさぎにちゃんと名前をつけています。マッド、シャッキー、マイケルという名前をつけました。3ひきいっしょにしてあるので、色々まよつで区別しています。

うさぎは三つ葉ラビッツフード、リンゴ、にんじんなどを食べます。当番の前日には、みんな、えさをたくさんつんできます。

小屋の中ばかりではかわいそうなので、グラウンドに放したら、みんながよってきて、さわっていました。一羽は、目の前の葉をむしゃむしゃ食べていて、腹痛にならないかなと思いましたが、ぼくは、うさぎがにげないよう見はりをしていました。うさぎも広い世界に出て、うれしそうでした。

うさぎはかわいいです。去年二羽も死んでしまったので、せつたい死なせないよう、かわいがります。  
(八岳小4年)

## 約30年前の日本

- 平成6(1994)年
  - 日本人初の女性宇宙飛行士 向井千秋を乗せたスペースシャトル打ち上げ
  - 関西国際空港(関空)開港
  - 大江健三郎ノーベル文学賞受賞
  - プロ野球、史上初の最終戦首位同率決戦。中日対巨人(10・8決戦)
  - 『ブレイクステーション』
  - 『セガサターン』など
  - 次世代ゲーム機発売ラッシュ
  - 大相撲、大関貴乃花光司が四場所優勝し横綱に
  - Jリーグ、ヴェルディ川崎
  - チャンピオンシップ年間優勝
- 平成7(1995)年
  - 阪神淡路大震災発生
  - オウム真理教
  - 地下鉄サリン事件発生
  - 大相撲、史上初の兄弟優勝決定戦(若貴対決)で兄・大関若乃花が弟・横綱貴乃花を破り優勝

## 「異常気象のなぞ」を読んで

「暑い、暑い」の口に出してしまふこの言葉。今年の夏は、異常な暑さだった。テレビでは、ダム貯水量と観測史上最高の気温というのが、毎日話題になっていた。

「異常気象のなぞ」という本によると、ここ二百年ほど、世界中で異常気象が続いているそうだ。日本も去年は冷夏、今年は猛暑だった。冷夏の年は、梅雨明けが遅く、いつまでも天気が悪い。そのため、野菜や果物、稲が育たなくなる。去年、日本が米不足になったのも、このためである。暑い年は、雨が降らずに

水不足になる。四国では、十数時間もの断水に苦しめられた。

また、日本は、台風が多い国であるが、ここ数年、世界中で台風の被害がでている。

異常気象が、もっとも深刻なのは、アフリカ大陸だ。干ばつが続いて砂漠が広がっている。このままでは、地球が砂にのみままれてしまいそうだ。

これらの異常気象の原因の一つは人間だと知り、おどろいた。例えば、地球の高度千mにあるオゾン層に人間が使うフロンガスで穴をあけてしまっている。オゾン層の穴から紫外線が直接降りそそぐと、皮膚ガン

を起こしたり、植物を枯らしてしまふ。アフリカの砂漠化も、ここに原因があるそうだ。

ぼくが、この本を読んで強く感じたことは、異常気象など、今の地球はたくさん問題があるが、自分たちの地球を、自分たちでこわしているということだ。ぼくたちも、もっと環境問題について真剣に考えなければいけないと思う。  
(修善寺南小6年)

## げうかなかぞくりよ行

この夏休み、家族でおどろり号のスーパービューに乗って横はまに行きました。おどろり号は、さすがにきれいでゆったりしているの、まるで校長先生用みたいですよ。すぐに、コーヒーやオレンジジュースがきました。とてもかっこいい電車で大まんぞくしました。ほかに、いろいろな電車のつたけれど、おどろり子号がいちばん気に入りました。

横はまには、いろいろなものがありました。「港みらい21」には、太平洋の白鳥とよばれるほど美しい大きなはん船、日本丸。「スモワードとゆうえん地。夜は電気が星のようにつく、きれいな横はまベイブリッジ。そして、この日とまった、70かいまで40秒で行ってしまうランドマークタワー……。

おひろから出ると、お母さんが外を見ながら、「自然の美しさと人が



平成7(1995)年  
131号掲載

作る美しさでは、どちらがきれいなかな。」とつぶやきました。わたしは自然の方がきれいだと思えます。なぜかという、人間が作ったものは、何年かたつときたなくなってしまうけれど、しぜんは、人間がよこさなければ、ずっときれいでいられるからです。  
(函南東小3年)

## 約30年前の物価

- バナナ 1kg 203円
- 中華そば(外食) 515円
- 新聞代 1カ月 3,850円
- 映画鑑賞料(大人) 1,800円
- 郵便料 封書 80円、はがき 50円
- 1ドル/円 99.58円

- 平成5(1993)年
  - J A伊豆の国が誕生
  - 函南町制30周年記念事業
  - 函南BIG KAN CANまつり開催
- 平成6(1994)年
  - 日本サイクルスポーツセンターで国際サイクルロードレースを初開催
- 平成7(1995)年
  - 函南町に日守山公園開園
  - 伊豆の国市に特別養護老人ホーム『ぬくもりの里』完成
  - 函南原生林、水源の森百選認定

